

Sound One Recorder 仕様		Ver.5.1 更新日：2025/10/24	
対応機種、対応OS			
	対応機種	iPhone XR、11、12、13、14、15、16、17、SE2、SE3	
	対応OS	iOS17、18、26	
Sound One アカウント連携			
	連携に必要な情報	メールアドレス、アクセスキー（Webアプリから取得）	
収録機能			
	収録（共通）	サンプリング周波数 量子化ビット数 マイクロホン 最大チャンネル数 位置情報（GPS） 加速度 セルフタイマー アライメントガイド	48000 Hz 16 bit 端末内蔵マイク、外部接続マイク（有線接続のみ対応） 2 チャンネル（使用するマイクに依存） 移動軌跡と速度を記録、収録開始地点を記録 Gフォース（X,Z方向） スタート：OFF、10 s、20 s、30 s、1 min ストップ：OFF、10 s、20 s、30 s、1 min、5 min、10 min ピッチ、ロール
	収録（音声）	最大収録時間 コーデック ファイル形式	30 分 Linear PCM（非圧縮） WAVEファイル（.wav）
	収録（動画）	最大収録時間 フレームレート ズーム コーデック ファイル形式 オートフォーカス 自動露出調整 手ぶれ補正	10 分 1、5、10、20、30 fps（機種により制限あり） 0.5～10 倍（0.5 倍は広角カメラ搭載機種のみ対応） ビデオ：H.264、オーディオ：Linear PCM（非圧縮） MOVファイル（.mov） 可 可 可
	設定項目	校正值 校正単位 0dB基準値 収録時画面スリープ 低負荷モード 設定初期化	任意（下マイク、背面マイク、前面マイク、外部接続センサーそれぞれで値を保持） Pa/FS、EU/FS 任意 スリープする／しないを選択可 可（モニター非表示） 可
	時間軸波形表示	時間軸波形 振幅拡大率 RMS（実効値）	4 秒分表示（1024点ごとの間引き表示） 1～10 倍 40960 点毎（時定数なし）
	FFT解析表示	表示周波数範囲 フレーム長 窓関数 グラフ表示	0 Hz～10000 Hz 4096 点（周波数分解能：11.71875 Hz） Hanning 周波数軸：リニア、ログ スペクトルレベル軸：ログ（0.0001～10000）、dB（－20～140 dB） カーソル種類：ピークカーソル、サーチカーソル ピーク周波数表示 サーチエンハンス（分解能 約200倍） 時間重み表示
再生機能			
	再生	再生、停止、再生位置変更（カーソル移動、5秒戻る、5秒進む、最初から）、GPS移動軌跡表示	
	ファイル情報	校正值（編集可）、0dB基準値（編集可）、センサー名、手ぶれ補正ON/OFF、収録場所を地図上に表示、収録アプリVer.	
	時間軸波形表示	収録機能と同じ	
	FFT解析表示	平均結果表示 ピーク保持表示 その他は収録機能と同じ	データ全体（オーバーラップ 75 %） データ全体（オーバーラップ 75 %）
	キャリブレーション	指定センサーに測定値と目標値から計算された校正值を適用	
	Sound One連携（※）	Sound Oneにファイルをアップロード（すべてのネットワーク、Wi-Fi接続時のみアップロード）	
	ファイル共有（※）	AirDrop、他のアプリへの共有、ファイルストレージへの保存	
	音声出力	内蔵スピーカーのみ（イヤホン、Bluetooth出力非対応）	
	※Sound Oneアカウントと連携すると使用できます。		
ファイルリスト			
	表示項目	ファイル名、録音時間、ファイル容量、収録場所の住所	
	ファイル操作	ファイル名変更、ファイル削除	
	Sound One連携（※）	再生機能と同じ	
	ファイル共有（※）	再生機能と同じ	
	※Sound Oneアカウントと連携すると使用できます。		